

# 頭取メッセージ

平素は群馬銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。当行は、昭和7年の設立以来、さまざまな社会・経済の変遷のなかで、地域金融機関として地域社会の発展を常に考えて行動するとともに、経営体質の強化に努め、今日の基盤を築いてまいりました。平成24年11月に創立80周年を迎えましたが、これもひとえに皆さまの温かいご理解、ご支援の賜物と深く感謝しております。

今後のわが国の経済動向を展望いたしますと足元に弱さは残るものの、円高修正に伴う株高など明るい兆しが出始めています。一方、お客さまニーズは多様化・高度化し、地域金融機関への期待が高まるなかで、金融機関相互の競争は一段と激しさを増しています。

こうした経営環境のなか、当行ではこれまで取り組んできた「サービスの質の向上」を継承しつつ、基本コンセプトを「価値ある提案」へ進化させ、さらなる競争力の確保に努めるとともに、引き続きマーケットの拡大を図ることを経営課題と認識しております。

かかる認識のもと、当行は、本年4月から平成28年3月までの3年間を計画期間とする「2013年 中期経営計画 V-プラン ～価値提案銀行への進化～」をスタートさせました。

本計画では、めざす企業像として「お客さまへ価値ある提案をしていく地域のリーディングバンク」を掲げ、地域金融機関として、常にお客さまの立場に立ち、お客さまに対し魅力ある提案を積極的に行ってまいります。

具体的には、法人向けコンサルティング機能を強化し、「ぐんぎん経営倶楽部」から企業への有益な情報発信や「ぐんぎん経営塾」による次世代経営者育成支援などに取り組むとともに、個人向けマーケティングとダイレクトバンキングの拡充に取り組んでまいります。



収益力の強化に向けた対応としては、主要三分野である中小企業貸出、個人貸出、預かり金融資産販売とともに、無担保消費者ローンや役務収益の増強に向けて取り組み、貸出運用力の強化やフィービジネスの増強を図ってまいります。また、成長マーケットにおける店舗新設やローンステーションの拡充に取り組んでまいります。

さらに、経費削減や業務効率化への取り組みにより、ローコスト経営を追求するとともに、コンプライアンス態勢の強化や顧客保護等管理態勢の充実、リスク管理態勢の高度化にも引き続き努めてまいります。

これらを一つひとつ実現していくことにより、地域のリーディングバンクとして、お客さま、株主さま、従業員、地域の皆さまの期待に応えていく考えです。

当行は、これまで築き上げてきたお客さまとの信頼関係を継承しつつ、お客さまへ価値ある提案活動を実践し、地域とともに成長することで、次なるステージへ向けて着実に歩んでいきたいと考えております。今後とも、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年7月

取締役頭取 齋藤一雄